

世論の前向きな変化を力に「恒久法」制定阻止を！

5月3日の各紙憲法社説は、この間の世論調査や名古屋高裁判決を色濃く反映したものとなりました。毎日、朝日は、これらをふまえて、表現の自由や生存権に焦点をあて、「憲法は現実を改革し住みよい社会をつくる手段」（朝日）だと主張しました。他方、読売、産経、日経は潮目の変化を意識しつつも、「一刻も早く憲法審査会を始動させるべき」（日経）」とし、「海賊も撃退できない憲法解釈がいかにおかしなものか。憲法守って国滅ぶだ」（産経）と、解釈改憲による自衛隊の武力行使・海外派兵の自由化を求めました。世論を力に、改憲勢力を追い詰める世論と運動のいっそうの発展が求められています。

五・三憲法記念日 各地で多彩な行動

憲法施行61周年の5月3日、全国で多彩な取り組みが展開されました。京都の乙訓では、10の小学校区「九条の会」が呼びかけ、パレード。北海道の北見では「憲法を読む103人の集い」が、鳥取市では「平和のハト風船行動」等々。各地の取り組みの一端を紹介すると・・・

《日比谷公会堂》8回目を迎えた共同の集いに4300人が参加、9条世界会議参加のアン・ライトさん、音楽評論家の湯川れい子さん、社会民主党の福島瑞穂さん、日本共産党の志位和夫さんらの話に大きな拍手で応えました。その後、参加者は銀座をパレード。《京都》市民で作る実行委員会が円山音楽堂で「生きるために いま憲法！ in 京都」を開催、1700人が参加。《松江》「憲法9条は世界の宝 MAKE PEACEの集い」に350人が参加。安仁屋政昭・沖縄国際大学名誉教授が講演。《愛媛》「憲法集い」に1350人が参加。三宅晶子・千葉大学教授が講演。《兵庫》「神戸憲法集い」に参加者600人。山内安雄弁護士、渡辺治・一橋大学教授が講演。はりま憲法集い、尼崎集い、垂水での宣伝署名が取り組まれました。《高知》「輝け日本国憲法！ 県民のつどい」が開かれ、約450人が参加。主催は「高知憲法会議」。水島朝徳・早稲田大学教授が「憲法とは何かを改めて問うー憲法施行61年の日に土佐から」の演題で講演。《香川》「平和憲法を生かす県民集い」で石坂啓さんが講演、250人が参加。《神奈川》「憲法改悪を許さない県民のつどい」に400人が参加。小沢隆一・東京慈恵会医科大学教授が「ほんとうに憲法『改正』していいのか」、高橋宏弁護士が「米軍犯罪と日本国憲法」と題して講演。

ウオッチ改憲動向

★5・1 議員同盟改憲推進大会
・1000人参加。民主党長島副幹事長「民主党も憲法改正を党是としている」。憲法審査会始動求める決議

★5・3 朝日世論調査
・憲法を改正必要あり 56%
改正必要なし 31%
・9条変えるほうがよい 23%
変えないほうがよい 66%

★5・3 新しい憲法をつくる国民大会（四谷区民ホール）に500人

9条世界会議に3.4万人！

9条世界会議が幕張メッセ（4日〜6日・2万2千人）、広島（5日・1200人）、大阪（6日・8000人）、仙台（6日・2500人）で開催されました。集会とともに、貧困や紛争、環境問題と9条との関係などをテーマにしたワークショップも開かれ、これらの模様をABC朝日放送を始め、マスコミが大きく報道しました。憲法会議の各加盟組織は会議成功のために大きな力を尽くしました。